

西部公民館だより

発行 西部公民館
 神ノ郷町吉町田12-1
 TEL:68-7233

8月の事業実績と9月事業計画

| 日程 | 行事名称 | 実績 | 備考 |
|----------|-----------------|----|-----|
| 8/1 (月) | 児童講座 自然観察と体験学習 | 済 | |
| 8/20 (土) | 公民館運営審議会 | 済 | |
| 9/3 (土) | 神ノ郷町敬老会 (式典は中止) | | ※ 1 |
| 9/21 (水) | すこやか講座(6) 相撲交流 | 中止 | |
| 9/25 (日) | みんなで歩こう健康づくり大会 | | |

※ 1 8月号公民館便りでお伝えしたように令和4年度もコロナ感染拡大防止の観点より式典は開催致しません。9月10日から順次区議員より記念品をお届けします。

児童講座 自然観察と体験学習

8月1日(月)に児童講座自然観察と体験学習を開催しました。当日は児童33人、PTA、子供会役員、公民館役員14人参加のもと校長先生をはじめ教員の皆さん、保護者の方など多くの方に集まって頂き、小林館長、より怪我無く楽しく有意義なものにできるようにと挨拶を頂き、見送りをうけ愛知県民の森と長篠城社史跡保存館に行ってきました。



コロナ禍拡大で開催を危ぶみましたが、感染レベル3の対応として手指消毒、マスク着用、バスの中の飲食の食禁止などの感染対策を取り実施しました。当日は晴天に恵まれ児童達は元気よく川遊び、川辺の動植物の観察などをしていました。



昼食はコロナ感染対策を考慮し例年バーベキューを実施していましたが、昨年同様に予め昼食を用意し持参して行きました。

川遊びの後は長篠城社史跡に移動しボランティアガイド3名の方より当時の大名の勢力図や長篠の合戦で使用された武具、血染めの陣太鼓の説明などをして頂きました。長篠城は東側に宇連川南側に豊川があり、その合流点を巧く利用した造りになっており、その川から城までの高低差は非常に大きく攻めるのは難しく守るには有利な作りとなっていることがよく分かりました。



PTA、子供会役員の皆さんご協力ありがとうございました。

04年度 みんなで歩こう健康づくり大会のご案内

今回のコース：犬飼港は昔は三河湾の五大港の一つと言われ天文16年(1574年)竹千代が人質として岡崎から今川方へ向かう道中の海路の出発地となった所です。そこへみんなで歩いて歩き、その後に博物館で学芸員より、その時代の話をして頂き帰路につきます。

※犬飼港を出港した竹千代は家臣の裏切りにより織田方に売られました。そんな竹千代の苦難の人質時代に突入する舞台の一つです。



参加対象：健康な方ならどなたでも参加できます。高齢の方、親子等多くの方の参加をお待ちしています。

持ち物：水筒・タオル・帽子等必要なものは各自でご用意ください
 参加費：200円 参加賞：あり



参加申し込み 9月16日(金) 西部小児童は学校に提出、それ以外の方は公民館に申込み用紙を提出ください。申込み用紙は西部公民館に用意してあります。

西部小児童作品を公民館に展示

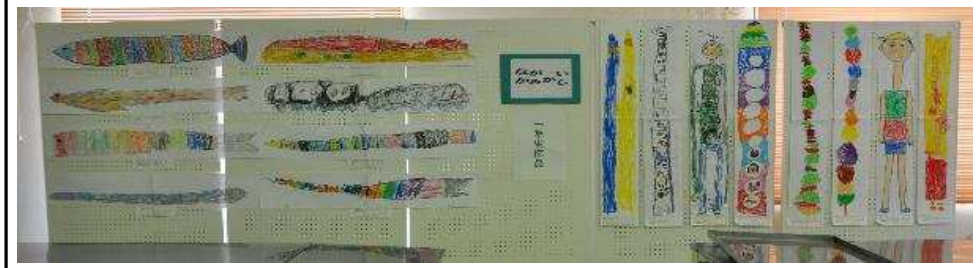
西部公民館2階調理室にて西部保育園・小学校の園児・児童が作った作品の展示を始めました。



普段学校に行く機会の少ない方は、公民館に来館頂けば子ども、孫の作品を見ることが出来ます。

展示内容は随時変更していきます。今回の展示は1年生 テーマ『ながーいかみから』と6年生がパソコンで制作した『防災ポスターを作ろう』の2テーマの作品です。

1年生作品は魚、電車、高層タワー等思いつくままに、ながーい絵にして表現してあります。6年生作品はパソコンを使いこなして1枚のポスターを文章、写真、絵を上手く構成して表現しています。今時の6年生のパソコン操作技量は想像以上です。



村祭りを楽しもう 赤日子神社例大祭

10月2日(日)は赤日子神社の例大祭です。3年ぶりの“ちゃらぼこ太鼓”の練り込みもあるそうで、それに向けて練習も行われています。午後3時からの餅投げはコロナ感染状況を鑑み今年も見合わせとなりました。さて公民館だよりでは、この祭礼を別の見方で楽しんでみましょう。まず拝殿で(たくさん)お賽銭を入れて2礼2拍手1礼の礼拝が終わったら少し下がって上を向いてみましょう。『敬神』の大文字が見えます。この額は『神額とか扁額』と言うそうで、赤日子神社拝殿の神額は東郷平八郎という明治時代のともえらい方の書で、それをうつしたものです。当時の赤日子神社の位の高さが伺えます。書は社務所に飾ってあり、元帥海軍大将東郷平八郎については、各自で検索してみてください。



『神額』



『東郷平八郎』



『神額』



『神額』

次に、宝物殿に行きましょう。神社の役員さんに許可を頂き、立会いのもと見学します。色々なものが保管されている中で少し変わった『神額』を紹介します。

この額は江戸時代神ノ郷村、柏原村の領主であった松平家・2代目堯親公が宝暦2年(1752年)奉納の神額で文字が赤彦大明神となっております。

元禄の頃(1700年頃)の絵地図では、赤日子神社はアカヒコ社・若宮神社は若宮八幡・大宮神社は大宮権現と現在とは違った名前で見られています。こう呼んだ時もあったのでしょうか？

他の『神額』も有り又ローマ字表記の案内板など有ります。

次に、拝殿と本殿の間に有るのぼりに注目しましょう。

右ののぼり旗は、天保3年9月15日に森の野川さんが奉納されたものとお聞きました。約190年前から祭り等で長い期間、使用された割にはきれいで、補修をしながら維持されているそうで役員さんの苦勞がしのべれます。

赤日子神社は現在、驚くようなお宝は無いにしても古い神社なので、小さなお宝はたくさんあるかも知れません。

(小林・令和3年神社役員さんにお聞きました。)



上ノ郷城跡スイセン花いっぱい活動のご案内と球根寄贈のお願い

◆令和4年度上ノ郷城跡 スイセン花いっぱい活動

日時：10月22日(土) 10:00～

雨天順延 10月23日(日) 10:00～

活動内容：参加者全員で指定された場所に球根の植付を行います。どなたでも参加できますので都合のつく方は参加下さい。

◆スイセン球根の寄贈のお願い(花の色、種類は問いません)

寄贈受付期間：10月1日(土)～10日(月)

受付場所：西部公民館駐輪場【水仙球根コンテナ】へ
お名前、分かれば花の色をお知らせください

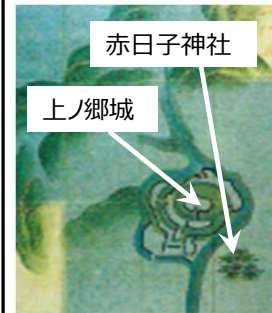


令和5年NHK大河ドラマ『どうする家康』放映前の豆知識

蒲郡の城跡

今回の内容も蒲郡市教育委員会発行の『がまごりの歴史』から転載・引用させていただきます。蒲郡市内には、丹野城・中島城・五井城・不相城・蒲形城(下ノ郷城)上ノ郷城・柏原城・形原城など、9ヶ所に城があったとつたえられている。これらの城は、名古屋城や姫路城のように、水を満たした堀を巡らせて、高い石垣の上に天守閣や御殿などが建つ、立派な城ではなかった。自然地形を利用して小山や丘の上に建物をいくつか築き、敵の侵入を防ぐために土塁で囲んだ城で、江戸時代の城とくらべると、狭くて簡易なものであった。市内の城のうち、五井城・不相城・蒲形城・上ノ郷城・竹谷城・形原城など6カ所の城の絵図が広島市中央図書館に残されている。それらの絵図は城の全域を上から見たように描いた絵図面で、江戸時代の中ごろに描かれたものである。今の地図のように正確ではないが、現在残っている各城跡の状況に照らし合わせてみると、おおよその城の規模が想像できる。これらの城は、江戸時代の初めごろまでには、城に住む人がなくなり、城として使われなくなった。それ以後長い年月が過ぎ、城跡付近は開墾や開発によって大きく変わってしまっている。しかし神ノ郷町の上ノ郷城跡だけは、建物があった場所や敵の侵入を防ぐために土砂を高く盛り上げた土塁などが良く残っていて、城の構造や広さを推定することができる。

上ノ郷城は、2007(平成19)年に城跡の一部が発掘調査された。調査の結果、建物の柱の跡や建物の周囲に積まれた石垣が見つかった。また火をともした灯明皿、煮炊きした釜や鍋、刃物を研いだ砥石、漁網のオモリなど、城にすんでいた人たちの生活用具も出土した。この上ノ郷城跡の発掘調査は2007年の第1次から2010年までに5回おこなわれ第1～5次発掘調査報告書として2012年に蒲郡市教育委員会から発行されています。



『上ノ郷城絵図面』



『上ノ郷城跡発掘時の状態』

公民館だよりでは、出版物がほとんどなくあまり知られていない上ノ郷城とか鷲殿氏に関する話を載せています。家康に関しては多くの出版物がありますので其方をお読み下さい。

くるりんバス

7月の乗車人数は合計128人でした。

朝晩は涼しくなってきましたが、まだまだ日中は暑い日が続いています。水分をこまめに取り、体調にお気をつけください。

お出かけや買い物、通院など外出の際は「みかんの丘くるりんバス」をご利用ください。

公民館からのお知らせ

8月5日よりコロナ感染警戒レベルが4に引き上げられました。

公民館利用の際に制限が発生する活動も有りますのでご注意ください。

令和4年度の蒲西学区文化祭が11月13日(日)に西部小学校で開催されます。詳しくは来月号公民館だよりに掲載します。